



西会津町長選挙

薄友喜町長、再選

《令和3年7月18日執行》

概要

任期満了に伴う西会津町長選挙は、7月13日に告示されました。今回の町長選挙には、届け出順に現職の薄友喜氏、元副町長で新人の伊藤要一郎氏の2人が立候補し、即日開票の結果、薄友喜氏が2度目の当選を果たしました。

投票結果

投票は、午前7時から町内18カ所の投票所で一斉に始まり、午後6時まで行われました（中央投票所のみ午後7時まで）。

町民の皆さんにとって最も身近な、町の代表者を決める選挙ということもあり、各投票所には朝早くから有権者の皆さんが投票に訪れました。当日有権者数は5,242

▶期日前投票所の様子



人、投票総数は4,446票、投票率は前回より2・21ポイント減の84・81%となりました。また投票日当日に仕事などで投票できない人のために、7月14日から17日まで期日前投票所が町役場前に開設されました。ここでは投票総数の約56%、2,485人の皆さんが期日前投票を行いました。投票総数に占める期日前投票の割合は、年々増加傾向にあります。

開票結果

開票作業は、午後8時から野沢体育館で行われました。開票開始から50分後の午後8時50分に各候補者の得票数が確定し、2,333票を獲得

した薄友喜氏が再選となりました。また、開票作業の様子は町ケーブルテレビで生中継され、お茶の間に開票の進捗状況が届けられました。

◎候補者別得票数 [敬称略]

当選 薄 友喜 2,333票
伊藤 要一郎 2,066票

	当日有権者数	投票者数	投票率
男	2,553人	2,165人	84.80%
女	2,689人	2,281人	84.83%
計	5,242人	4,446人	84.81%
開票結果	投票総数	4,446票	
	有効投票総数	4,399票	
	無効投票総数	47票	

7月18日に行われた町長選挙で再選した薄友喜町長が8月5日、町役場に初登庁し2期目がスタートしました。町役場では、町民の皆さんや町職員が薄町長を出迎え、薄町長は集まった皆さんと言葉を交わしながら、拍手の中、晴れやかに登庁しました。

引き続き、町役場大会議室で就任式が行われ、薄町長が町職員を前に就任のあいさつを述べました。あいさつの内容は次のとおりです（抜粋）。

1期目を振り返って

活気ある西会津町を取り戻すため、町民の皆さんや議会のご協力を賜り、また、職員の方には多くの業務や事業に精力的に取り組んでもらいました。その結果、さまざまな公約の実現による地域力の底上げができ、高い評価をいただいていることに改めて感謝と御礼を申し上げます。

未来へ持続可能なまちに

次の時代を担う子どもたちから高齢者までが安全安心

に、いきいきと健康で活躍できる、将来にわたって持続可能なまちにするために、全力で取り組んでいく覚悟です。何か起きる、何かが変わる、そんなワクワクドキドキ感を職員の皆さんと体現していきたいと思っっているのです。将来に向けたまちづくりを共に頑張っていきたいと思います。

薄友喜町長略歴

昭和23年生まれ、新郷出身。喜多方商業高校（現喜多方桐桜高校）卒。昭和42年に町役場奉職、企画調整課長や参事兼総務課長などを歴任。平成20年4月からは副町長として町政執行に尽力（平成21年8月退任）。他にも、にしあいづ福祉会理事、町ボランティア活動サポートセンター会長などを歴任し、平成29年8月から現職。

当選証書交付式

7月19日には、西会津町長選挙当選証書交付式が町役場で行われました。式では、町選挙管理委員会の高濱秀道委員長が「町政を担うことは大変な重責です。明るく活力あるまちづくりの取り組みに期待します」とあいさつし、薄友喜氏に当選証書が手渡されました。なお、町長の任期は令和3年8月5日から4年間です。



▶高濱委員長から当選証書を受け取る薄氏（写真右）